

15. 明治維新と立憲国家への歩み(1)

な改革

② …1868年、新政府が新しい政治の方針を内外に示した

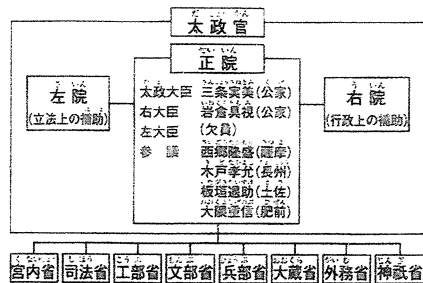
・年号を③に改め、江戸を④と改称した

⑤ 全国の藩主に、版(領地)と籍(領民)を天皇に返上させた

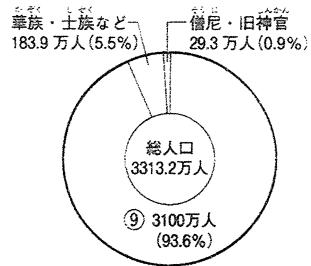
⑥ …すべての藩を廃止して県を置き、新しく⑦ 府知事を任命

⑧ 公家・大名を華族，武士を士族，百姓・町人を
⑨ とする

→ 解放令により江戸時代のえた・ひにんなどの身分制度が廃止されるが、生活面での差別が残る



▲明治政府のしくみ



(「日本の人口」)

▲人口の割合(1872年)

⑩ …国力の充実をはかり、西洋の強国に対抗できる国家を目ざした

・⑪ …1872年に公布→6歳以上の男女がすべて小学校に通うことを定めた

・兵制…1873年、⑫を發布→満20歳となった男子に兵役を義務づけた

・税制…1873年から⑬を実施

→土地所有者に地価の⑭%の地租(税額)を⑮で納めさせた→人々の負担は変わらず、反対一揆
 が起こった→地租の税率が⑯%に引き下げられた

⑰…西洋の知識や技術を取り入れ、近代産業の育成を目指す政策

・⑬ 工場の開設…群馬県の富岡製糸場など

・⑬ ⑭ の開通…1872年、新橋・横浜間、数年後に神戸・大阪・京都間で開通

・通信…1871年、前島密の立案で②③ 制度が確立

②① …西洋の文化が取り入れられ、人々の思想や信仰、生活様式などが大きく変化

・生活の変化…ザン切り頭、牛鍋、れんが造りの建物、ガス灯・ランプなど

・新しい思想…②② や中江兆民らが、人間の自由や権利を尊重する思想を紹介

・1873年、^② 暦が採用され、7日を1週間とし、日曜が休日とされた

16. 明治維新と立憲国家への歩み(2)

① の派遣…不平等条約の改正には失敗したが、先進国の政治・産業・文化を学んだ

明治初期の外交

・清との関係…1871年、

② 条規
を締結

・朝鮮との関係

…武力で開国を迫る征韓論が
台頭→1875年、

③ 事件がおこる

→翌年、④

条規締結



・ロシアとの関係…1875年、

⑤ 条約
を締結

・琉球王国…

1879年、⑥ 藩を廃止

→⑦ 県を設置
(琉球処分)

自由民権運動 …国民の自由と権利を求め、立憲政治の実現を目指す運動

・民権運動の始まり…1874年、⑧ らが民撰議院設立建白書を提出

・士族の反乱…政府への不満が高まり、西日本の各地で反乱がおこった

→⑨ …1877年、鹿児島^の士族たちが⑩ を中心におこす

・自由民権運動の高まり…1880年、民権派の代表たちが大阪に集まり⑪ を結成
イギリスにならった政党政治を主張した大隈重信と君主の権限の強い憲法をつくることを主張した岩倉具
視が対立→政府は大隈重信を辞めさせ、1890年に国会を開くことを約束

・政党の成立…⑧を党首とする⑫ 党、大隈重信を党首とする⑬ 党が成立

立憲国家の成立

・⑭ 制度の確立…⑮ らは君主の権限の強い⑯ ・オーストリ
アなどで立憲政治を学ぶ

→1885年、⑭制度をつくり、⑮は初代の内閣総理大臣になる

・⑰ 憲法…⑮が中心となってつくった憲法案を枢密院で審議

→1889年、⑱ が国民にあたえるという形で発布

⑱は国の元首として、軍隊を統率し、外国と条約を結ぶなど、大きな権限をもつ

言論・集会・出版・結社・信仰の自由は⑲ の範囲内で認められた

⑳ 議会…皇族・華族などからなる㉑ と、選挙で選ばれた議員からなる㉒

・㉒議員の選挙権…直接国税を㉓ 円以上納める満㉔ 歳以上の㉕ に限る

②

= 鎖国している朝鮮を武力で開国せよ
(あるいは日本の植民地にして) ^{という考え}